

【〇は重点項目】			評価項目(大津市学校教育評価表に準ずる)	評価指標	評価	評価委員のみな様から
①	主体的・対話的で深い学び	1	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践に務めた。	教科指導や課外活動等を通じて、認め合い、支え合い、高め合う仲間づくりに努め、自立した児童を育成している。	2.6	・主体的に行うことは難しいと思うが、先生方は工夫しているように思う。 ・今の児童はＩＣＴの活用に長けているが、これからの次代それも不可欠ではあるが、やはり人と人のコミュニケーションが大切だと思う。その方向で指導してほしい。 ・学区の文化祭への作品の出展において、児童の工作や絵の展示が好評であるので、それに応えるべく各学級から工作1点、絵画1点の合計60点の作品掲示をお願いしたい。 ・学校に活気が戻ってきてほっとしている。 ・学校の満足度が90％を超えているのが素晴らしい。 ・地域学習に協力いただいている等高評価をつけたい。 ・主体性は伸びていない感じがする。
		2	協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善を行った。（ＩＣＴの活用含む）	学校の教育目標の具現化に向け、教育計画の立案・実践・評価・改善を行うことができている。		
		3	主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会に参加した。	自己研修に努めるとともに、校内・校外研修にも意欲的に参加している。		
2	道徳教育の充実	4	生命尊重や人権尊重等豊かな心を育むとともに、いじめを許さない態度など道徳的实践力を育てる活動を実施した。	特別活動をはじめ、全ての教育活動で「いじめを許さない」態度を育てる活動を実施している。	2.1	・先生方が保護者や児童のことを考えて授業を作って進められている姿を感じることができた。 ・難しい授業だと思うが頑張っている。 ・人が集まれば、どうしてもいじめめなことが起こりやすくなる。日々の生活や授業の中で根気よく人を大切にすることを指導してほしい。 ・言葉遣いについて、また児童理解については更なる丁寧さをお願いしたい。 ・大人社会は水くさい。無関心を装う社会となってきた。子どもだけでも思いやりのある子に戻ってほしい。 ・不適切な保護者に対する対応が難しい。
		5	道徳科の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流に取り組んだ。	年に一題材以上、新規資料・教材開発を行い、道徳科授業の充実を図っている。		
		6	保護者等への道徳科の授業公開を行った。	年に一回以上、学習参観日に道徳科の授業を公開している。 (参観実施が不確定のため今年度も努力指標)		
3	体力づくり	7	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善を行った。	体育的行事や授業（保健含む）の中で創意工夫し、運動能力や体力向上に向けて取り組んでいる。	2.4	・しもしんピックなど、児童の興味をひく取り組みをしていることはすごく良いことだと思った。全員が意欲をもてるよう工夫してほしい。 ・運動会を見たが、児童が楽しそうに体を動かしていた。いろいろな取組の中で体力向上が図られていると感じた。 ・校庭には子どもの歓声が戻ってきた。子どもは元気で賑やかな方がよい。
		8	体力づくりを推進する運動実践に取り組んだ。	体育授業の充実や、休み時間等の運動遊びを充実させるための環境整備等を行い、体力向上につなげる取り組みをすすめている。		
		9	体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成に務めた。			
④	指導改善(組織的・計画的)	10	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善を行った。	児童一人一人の力を伸ばすため、教科担任制や学習規律の統一を含め、個に応じたきめ細かな指導の充実に努めている。	2.3	・働き方改革を全ての職員が行えるよう、学校全体で動いていけると良いと思う。 ・やろうと思えば、仕事、児童のことと、たくさんあるので整理して仕事ができるようになっていくと良いのではないか。先生方はよく働いておられると思う。 ・先生方はいつも児童のために尽力してくれており、ありがたいと感じている。
		11	教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上に務めた。	ＯＪＴやメンターチーム等における、校内研修体制が整備され、人材育成に向け定期的に実施されている。		
		12	働き方改革の取組と教育活動の質の改善に取り組んだ。	勤務時間管理や会議精選等による児童と向き合う時間の確保、モチベーションの向上に計画的に取り組んでいる。		
⑤	家庭・地域との連携・協働	13	保護者の子育てに対する積極的な支援を行った。	相談しやすい環境・体制を作ったり、SCやSSW等関係機関に接続したりしている。	2.7	・地域の方とのつながりをいつも意識した取組がなされており素晴らしいと思った。 ・防災教育の推進に学校、学級の大きな意気込みがなされており、地元として対応でき良かった。 ・いろいろな場面で地域と連携できていることは素晴らしい。今後も地域の支援をお願いしたい。 ・今年は創立150周年を迎え、地域との連携事業の取組が良かった。 ・児童、保護者とも評価が高かったのは良かった。
		14	保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域の人材活用を行った。	情報を発信したり、授業や教材の開発に地域の人材などを活用したりして、特色のある学校づくりを推進している。		
		15	防災教育の推進、感染症対策の推進等、安心・安全な学校づくりに取り組んだ。	家庭や地域関係機関、団体との連携を図りつつ、具体的な取組が行われている。		
6	保幼小中の連携	16	子どもの校種間交流や教員の出前授業を実施した。	指導方法の違いや発達を捉えた環境構成について理解を深めている。	2.4	・5、5交流はすごく良い取組だと思う。 ・園児の交流、小学校の場を借りることができ大変ありがたかった。引き続きお願いしたい。 ・子どもの交流を通して接続について学び合えると嬉しい。 ・保幼小中の連携がうまくいっているのではないか。児童はそこで「学び」「遊び」を学んでいくのではないだろうか。 ・幼小中の連携はできているが、保育園との連携については不明であったので、今後検討してほしい。
		17	校種間の授業公開や合同研修会に参加した。	日吉学推等を利用し、積極的に授業公開や研修会に参加している。		
		18	保幼小中接続期の教育課程の編成校種間のカリキュラム研究に取り組んだ。	保幼小中接続期のカリキュラムについて理解を深め、指導計画の作成や実践・評価をしている。		
7	生徒指導	19	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導に務めた。	児童との関わりやアンケートを活かし、配慮を要する児童について組織的に対応している。	2.1	・未然防止は難しいと思うが、できるだけできるよう児童を細かく見取ってほしい。 ・引き続き児童のＳＯＳを見落とさず取り組んでほしい。 ・組織的な対応をお願いしたい。問題行動は学校全体で把握を！ ・児童が「お客様」気分になっている。広まらないようにしたい。
		20	校内の生徒指導、教育相談体制の確立、いじめ対策の組織的な対応を行った。	教職員全体で児童の状況についての理解を共有し、生徒指導に取り組む体制が整備されている。		
		21	家庭、地域、関係機関との連携による指導ができた。	保護者や地域社会、関係機関（SC、SSW含む）等との連携協力の下で生徒指導が行われている。		
8	特別支援教育の充実	22	個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用を図った。	個別の教育支援計画や個別の指導計画が適切に作成され活用されている。	2.7	・児童のことを考えて関われていると思った。 ・不登校、行き渋りがいるとのこと。個々を見てゆっくりと関わってほしいと思う。 ・新しい教室には問題があると思うが、その中でもしっかりと対応していただきありがたい。 ・全校児童、教職員の特別支援教育の理解と支援体制づくりの推進を！
		23	組織的、計画的な特別支援教育体制の確立に務めた。	校内支援体制（校内委員会の設置、特別支援教育コーディネータの指名、研修の実施等）が適切に整備されている。		
		24	関係機関と連携した相談体制の充実に取り組んだ。	医療、福祉など関係機関との連携が適切に図られている。		
特	特色ある教育活動	A	さわやかな挨拶の取り組みを推進した。	気持ちのよい挨拶ができる児童が育っている。	2.2	・学校や家庭での読書が増えると良いと思った。 ・朝読書は地域の人を呼べないか？ ・アニメの続きを小説で読めるなど、子ども向けの読書方法がありそう。 ・あいさつ運動の時、児童は元気にあいさつしてくれ大変嬉しい。これからもたくさんあいさつをしたいと思った。 ・安全、防犯、防災の取組が地域団体と連携できている。
		B	図書室の環境づくりと読書指導を推進した。	図書指導や学級文庫の充実を図り、読書が好きな児童を育てるために取り組んでいる。		
		C	外国語科・外国語活動の取り組みを推進した。	興味・関心、表現への慣れ親しみ、コミュニケーション能力の向上をめざして取り組んでいる。		
		D	安全・防犯・防災の取り組みを推進した。	それぞれの学習・体験活動により、知識を深め、できることにしっかり取り組む児童が育っている。		